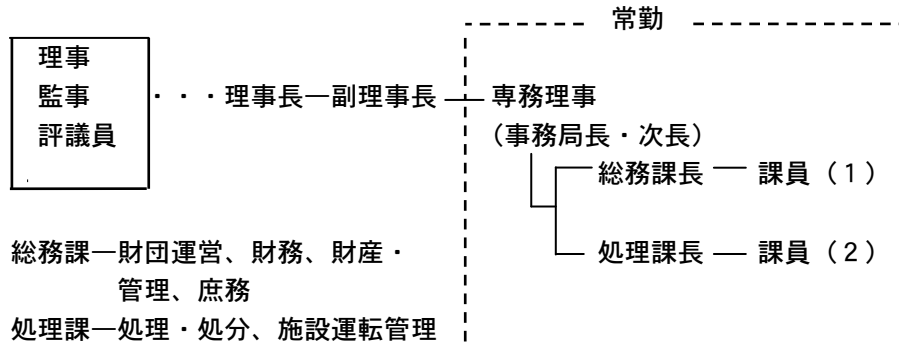


## 平成23年度事業計画（案）の概要

### 1 事業組織と施設整備等

#### (1) 日高村での開業後の事業組織



事務局の2つの課の職員については、採用試験を終えており、開業までの間に資格の取得や研修などを行っていく。

また、開業までの間は、高知県林業振興・環境部環境対策課長が事務局長（10月以降は事務局を補佐する次長2名（県派遣）を置く。）を務めるなど、高知県からの人的支援を引き続いて受けていく。

#### (2) 施設の整備等

10月の開業に向け、総合調整しながら整備を進めていく。

区分	概要（敷地 69, 884 m <sup>2</sup> ）	平成23年2月末進捗状況
管理棟	構造：木造平屋建 延床面積：240 m <sup>2</sup>	30%
水処理施設	処理能力：15 m <sup>3</sup> 調整槽：119, 96 m <sup>3</sup>	88%
展開検査場	構造：鉄筋造平屋建 延床面積：1, 048 m <sup>2</sup>	0%
最終処分場	構造：管理型最終処分場（被覆） 埋立地：40 m（幅）×300 m（長さ） ×10 m（深さ）	80%
医療廃棄物処理施設	構造：鉄骨造平屋建 延床面積：430 m <sup>2</sup> マイクロウェーブ滅菌処理施設 処理能力：6.56 t/日	6%

施工監理等委託業務（継続）

建設工事発注支援・土木施工監理委託業務、オオタカモニタリング委託業務、建築施工監理委託業務、遮水シート施工監理委託業務

### 2 事業内容

#### (1) 廃棄物処理業（エコサイクルセンター）

開業後に見込む最終処分場受入量（通年）と予定料金は、排出事業所調査などをもとに次のとおり設定したが、今後の運営の基礎を築く大切な初年度となるため、顧客確保には特に力を注ぐ。

事業計画		受入見込量(t) (通年ベース)	予定料金 (円/t)
品 目	燃えがら (ばいじん・一廃含む)	2, 910	15, 000
	廃石綿	40	30, 000
	鉱さい	2, 460	9, 000
	無機性汚泥	340	30, 000
	廃石膏ボード	590	12, 000
	建設混合廃棄物	0	20, 000
	合計	6, 340	—————

※受入見込量は、利用意向を有する排出事業所に対しての3カ年調査などをもとに設定。予定料金も同調査などをもとに設定。一廃(別料金)は日高村、いの町のみ(24年度から想定) 受入見込量には、上記通年ベース(10月開業予定のため量は1/2を見込む)に高知市弥右衛門土地区画整理事業にともなう鉱さいを見込む。

### (2) 医療廃棄物処理業(医療廃棄物センター)

日高村で開業するまでは、現在地(高知市仁井田)で操業(9月までに1基を移設し、残る1基で操業)。

近年、感染性廃棄物の受入れが微増、一方、非感染性廃棄物は微減といった状況で、事業収入は大きな変動なく推移し、平成22年度も概ね21年度並と見込んでいるが、引き続き関係団体や業界などと連携し、受入量の確保に力を注ぐ。

平成23年度の見込みは、実績などを踏まえ21年度並とした。

事業計画	感染性廃棄物(kl)	非感染性廃棄物(kl)
受入見込量	3, 720	1, 190

料金は、現行の感染性29円/kl、非感染性27円/klとする。

処理形態は、当施設への搬入の後、滅菌破碎後、県内の焼却場に搬出、エコサイクルセンター操業後は、焼却灰を搬入することになる。

### (3) 埋立・処理

処分場での埋立や医療廃棄物の処理にあたっては、管理計画や搬入マニュアルなどに基づいて適正で効率的な作業を進めていく。なお、医療廃棄物の処理を行う設備は、移設前に全面点検を行うなど安定操業に万全を期した対応を図る。

## 3 運営の将来見通し(別添)

最終処分場(廃棄物処理 事業期間20年とする)と医療廃棄物処理(事業期間10年とする)の事業収入による減価償却前段階の収支及び資金の将来見通しでは、平成23年度に設定した受入量が確保できれば、将来的な管理費などへの対応資金も見込めると見通している。

## 4 環境の保全などを図る取り組み

定期的な環境測定と公表、地域における環境学習の場としての活用を図る取り組みや関係団体と連携した保全活動(交流や放流事業)などを行っていく。

## 5 法に基づく財団の移行について

法期限(平成25年11月末)までに移行作業を進めていく。